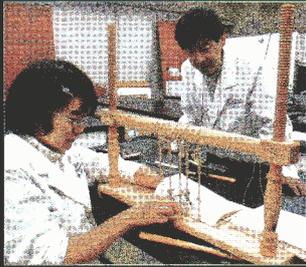


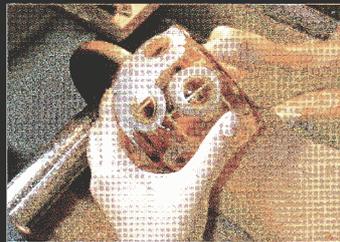
浮世絵版画の非破壊分析



古文書の修復



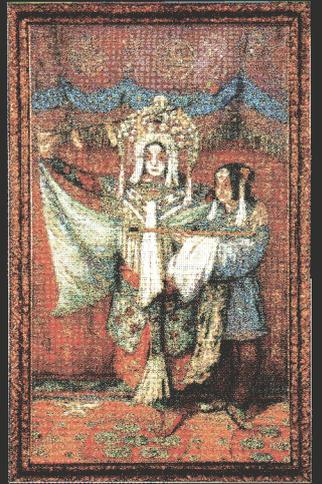
古代ガラスの復元



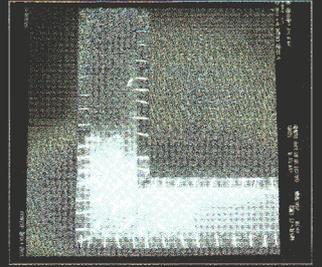
浮出切子碗の復元



脱塩処理後のローマ時代のテラコッタ(人物)



児島虎次郎《劇の人物》紙製張子額の修復
大原美術館所蔵



紙製張子額のX線写真



絵画修復

加計美術館では文化財の保存と修復をテーマに「美の継承～保存と修復～」展を開催いたします。

美術館や博物館にはたくさんの文化財が保管、展示され、私たちの目を楽しませてくれます。しかし、絵画や工芸品、書物などの文化財は時間が経つと劣化が生じてきます。または何かの理由で破損することもあるでしょう。こうした場合、文化財を修復するために、どのような科学調査が行われ、どのように処理されていくのでしょうか。

例えば、1枚の風景画があります。長い間に油彩画は劣化し、保存環境が悪く描かれていた雲の部分の絵具層が剥離してしまいました。これから先もこの風景画を残していくにはどうしたらよいのでしょうか。剥離した雲の部分に上から白い絵具を描き足すのが良いのでしょうか？ 白い絵具といってもたくさん種類があります。どの白色絵具が使われていたのでしょうか？ 白色絵具を補うことが許されるのでしょうか？ 修復した後はどのように保管したら良いのでしょうか？ 貴重な文化財を未来に伝えていくためには文化財の適切な科学調査と修復処置、そして保存環境の整備が必要になります。

本展は当館の関連校であります倉敷芸術科学大学と吉備国際大学、そして学術教育交流協定を結んでいる大原美術館ご協力のもと、児島虎次郎作品に使用されている紙で作られた張子額の研究をはじめ、古代ガラスの復元や絵画、書物、漆芸作品等の保存修復についてご紹介します。様々な観点から文化財の保存修復を考える機会になれば幸いです。

記念フォーラム『ミュージアムと修復家の幸せな関係』

倉敷市での文化財保存修復学会第31回大会開催にあたり、大原美術館、倉敷芸術科学大学、吉備国際大学を束ねる「財団法人大原美術館、学校法人加計学園、学校法人高梁学園 学術教育交流協定」は、学会参加者の親睦と倉敷の文化に親しんで頂くため、記念フォーラムを開催いたします。

●日 時：2009年6月12日(金) 18:00～20:00 ●会 場：大原美術館

●参加費：3,000円

主 催：財団法人大原美術館／学校法人加計学園／学校法人高梁学園

共 催：文化財保存修復学会

18:00～19:00

シンポジウム『ミュージアムと修復家の幸せな関係』(大原美術館本館2階展示室)

・パネリスト：木島隆康(東京藝術大学美術学部 教授)／大原秀之(吉備国際大学文化財学部 教授)

・司 会：柳沢秀行(財団法人大原美術館 学芸課長)

19:00～20:00

懇親会(本館アトリウム)

●お申込み・お問合せ先▶大原美術館

FAXまたはメールにてお申込みください。FAX:086-421-5140 メール:info@ohara.or.jp

美術館までの交通アクセス

●電車をご利用の場合

東京方面から

山陽新幹線「岡山」駅下車⇒山陽本線「倉敷」駅下車 徒歩約15分

広島方面から

山陽新幹線「新倉敷」駅下車⇒山陽本線「倉敷」駅下車 徒歩約15分

●車をご利用の場合

東京／広島方面から

山陽自動車道「倉敷IC」⇒美観地区まで約20分

四国方面から

瀬戸中央自動車道「早島IC」⇒美観地区まで約20分



なお、大原美術館、加計美術館には駐車場がございません。周辺の有料駐車場をご利用ください。

学校法人 加計学園・学校法人 高梁学園

加計美術館

KAKE MUSEUM OF ART

〒710-0046 岡山県倉敷市中央1-4-7(美観地区) Tel&Fax 086-427-7530